

日本創傷治癒学会は平成12年12月より、学会として新たな体制のもと、再スタートいたしました。創傷治癒研究会として発足してから今年で32年目になります。新しい会則が制定され、運営体制も理事・評議員制に移行しました。現在9名の理事と64名の評議員、さらに円滑かつ発展的な学会運営にむけて7つの委員会が設置されています。運営にあたっては今後も改良を加え、会員の皆様からのご意見をいただきながら、学会のさらなる発展に務めていきたいと思っております。



国際活動としては、米国のThe Wound Healing Society (WHS)、欧州のThe Tissue Repair Society (ETRS)、豪州のThe Australian Wound Management Association (AWMA)との連携をさらに強化、推進しながら、熱意にあふれた国際性豊かな学会として、わが国の創傷治癒研究を世界に発信していきたいと考えております。共同で発行している機関誌 Wound Repair and Regenerationは、今年で第11巻を数えますが、昨年より Impact Factor (IF, 2.505) がつき、Current ContentsやPubMedにもindexされています。数年前からWRR編集委員長Lindblad氏が中心になって米国の関係機関への働きかけが行われてきましたが、日本創傷治癒学会としても機関誌として充実した内容にするためにIFの重要性をLindblad氏に訴えてまいりました。今回これらの努力がみごとに結実いたしました。IF 2.505というスコアは外科系、形成外科系、皮膚科、病理学や消化器関連の雑誌ではトップクラスであり、今後多くの会員の方々からの投稿が期待されます。日本創傷治癒学会で発表された内容をぜひ論文にして投稿していただけるように、指導的立場におられる会員の方々におかれましては若い先生方のご指導をよろしくお願いいたします。本学会としてもできるだけサポートできるように、米国に本拠がある編集委員会と連携を深めていきたいと思っております。また、WRRの巻末に毎号特別掲載されている日本語のニュースレターについても、広報委員会のメンバーの方々にもその内容を充実



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2003.6
No.15

日本創傷治癒学会事務局
〒160-8582
東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部外科学教室内
tel. 03-3353-1211
(内線62269)
fax.03-3353-2681
e-mail: info@jswh.com
URL: http://www.jswh.com

したものにさせていただき、会員の皆様のコミュニケーションの場にしたいと望んでいます。

昨年来、将来検討委員会を中心に検討が行われております看護師をはじめとするコメディカルの方々の学会参加については、ぜひ本学会の裾野を大きく広げるために大切なことと考えております。会費、会員資格、権利と義務など、規約上さらなる検討が必要ですが、規約委員会、将来検討委員会、関連学会協議委員会の協議のもとに円滑にコメディカルの方々が参加のできる窓口が開かれることを期待します。

さて、来年、2004年7月にはパリで2nd World Union of Wound Healing SocietiesがTeot会長のもとに開催されます。不安定な国際情勢が続いていますが、日本から多くの先生方が参加されることを期待したいと思います。WHSとETRSにおいては、来年はそれぞれの定期学術集会を行わずに2nd World Unionを共同開催すると聞いております。昨年12月の日本創傷治癒学会理事会、評議員会でこの点が討議され、日本の会員の皆様には積極的に参加をお願いすることとし、定期学術集会はキャンセルしないことになりました。今後も国際委員会を中心に情報を集めていただきますが、最新の情報はニューズレターを通じて会員の皆様にお伝えいたしますので、ぜひ積極的なご参加をお願いいたします。

財政面については、収入のほとんどが年会費で賄われておりますので、平成15年度年会費につきましてもよろしくお願いいたします。2年以上会費滞納の場合はWRRの送付を停止させていただいております。通常価格ではアメリカ以外の

国から個人としてWRRを購入しますと、年間\$210の費用がかかります。日本創傷治癒学会会員には特別価格で年会費に含む形でお届けしております。毎年、財務委員会を中心に収支決算のバランスを検討いただいておりますが、円滑な学会運営のためには会員数の維持確保は重要課題であります。昨年の新評議員選考にあたっては、評議員選考委員会の方針として今しばらく評議員数の増加を見守ることとなりました。将来の日本創傷治癒学会を担っていただける人材が積極的に本学会に加わっていただけることを期待したいと思います。

最後になりますが、本学会が研究会であった頃から約10年の長きにわたりお手伝いをいただいた担当秘書の廣橋久美子さんが退職され、新しく宇田川秋子さんが来られました。しばらくの間は多少ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。末筆ながら、創傷治癒の臨床、研究に携わっておられるすべての会員の皆様のご発展をお祈り申し上げますとともに、本年度も暖かいご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

日本創傷治癒学会 各種委員会(2003.4.1現在)

財務委員会

担当理事・委員長 嶋田 紘
 委員 山崎 洋次 磯本 浩晴
 内沼 栄樹

規約委員会

担当理事・委員長 岡田 保典
 委員 穴澤 貞夫 平田 公一
 相川 直樹 斉藤 聖二

評議員選考委員会

担当理事・委員長 中島 龍夫
 委員 赤坂 喜清 秋田 定伯
 安藤 暢敏 永田 見生

国際委員会

担当理事・委員長 小野 一郎
 委員 上尾 裕昭 秦 維郎
 磯貝 典孝 篠澤 洋太郎

広報委員会

担当理事・委員長 石井 壽晴
 委員 坂本 長逸 田井 良明
 徳永 昭 丸山 優
 三輪 晃一

関連学会協議委員会

担当理事・委員長 野崎 幹弘
 委員 黒柳 能光 斎藤 和好
 西岡 清 岩井 武尚

将来構想検討委員会

担当理事・委員長 岡田 正
 委員 北野 正剛 高野 邦夫
 田澤 賢次 鈴木 茂彦
 畠山 勝義 落合 武徳
 白水 和雄

第33回 日本創傷治癒学会のご案内(第2次)

第33回日本創傷治癒学会 会長 落合武徳(千葉大学大学院医学研究院先端応用外科教授)

第33回日本創傷治癒学会を下記の通り、開催いたします。
 会員の皆様の多数ご参加をお願い申し上げます。

会 期: 平成15年12月9日(火)~10日(水)

会 場: 千葉大学西千葉キャンパス内けやき会館(西千葉駅徒歩5分)

抄録締切: 平成15年9月15日(月)

連絡先: 第33回日本創傷治癒学会事務局

住所: 〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学大学院医学研究院先端応用外科内

TEL: 043-226-2110 FAX: 043-226-2113

第5回日本褥瘡学会のご案内

会 長： 矢野英雄(富士温泉病院 副院長)

会 期： 2003年8月29日(金)、30日(土)

会 場： 大宮ソニックシティ

〒331-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

TEL: 048-647-4111 FAX: 048-647-4159

参加費： 7,000円

演題締切： オンライン応募 2003年4月17日～2003年5月16日必着

郵送応募 2003年4月17日～2003年5月8日消印有効

問合せ先： 日本褥瘡学会事務局 第5回日本褥瘡学会学術集会係

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町519

洛陽鶴巻町ビル4F(株)春恒社学会事務部内

TEL:03-5291-2170 FAX:03-5291-2176

E-mail:jokusou@shunkosha.com

URL: <http://www.jspu.org/>

国際学会のご案内

14th The ETRS (European Tissue Repair Society) Annual Meeting

会 期： 2003年9月21～23日

場 所： アムステルダム、オランダ

連 絡 先： Dr. Esther Middelkoop, Dutch Burns Foundation

1940 EA Beverwijk The Netherlands

TEL:+131(0)251 278 446 FAX:+131(0)251 278 455

E-mail: dzwager@dbf.nl Website: <http://www.etrns.org/>

2nd World Union of Wound Healing Societies Meeting

会 期： 2004年7月8～13日

場 所： パリ、フランス

連 絡 先： MF Congres - Michael Bia

8 rue Tronchet 75008 Paris FRANCE

TEL:+33(0)1 40 071 121 FAX:+33(0)1 40 071 094

E-mail: mbia@wanadoo.fr Website: <http://www.wuwhs.org/>